

5-2. 富士岡地域

(1) 富士岡地域の現況

①地域の概況

本地域は、市の南部に位置し、JR 富士岡駅や JR 南御殿場駅が立地するほか、地域拠点である富士岡支所周辺には、生活サービス施設や住宅が立地し、地域西部には駒門工業団地が形成されています。

また、主な地域資源として、駒門風穴や御殿場高原時之栖などがあります。

さらに、地域内を東名高速道路が縦断し、御殿場 JCT^(※1)、駒門 SIC（上り・下り）が位置しています。



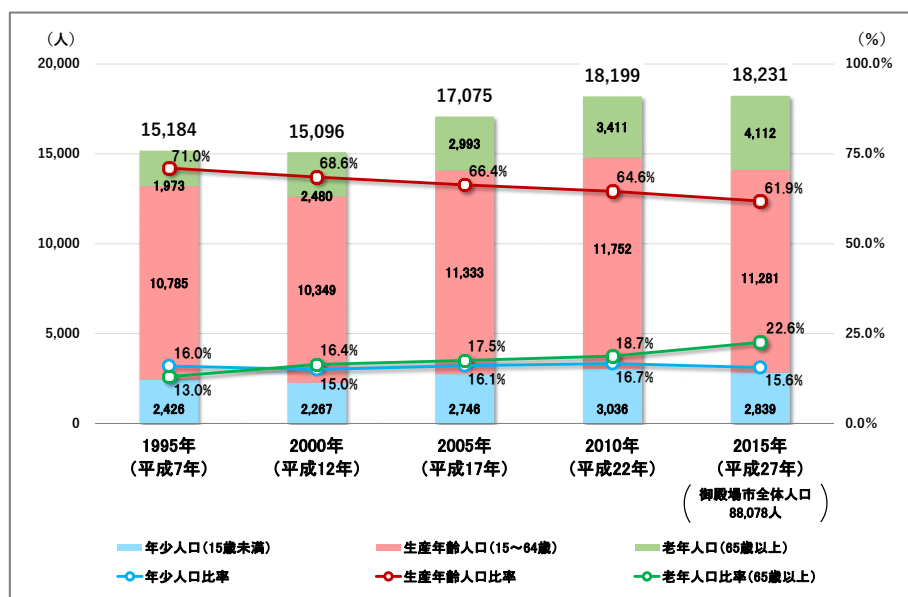
②地域の人口

地域人口は、平成27年（2015年）時点で18,231人であり、市全体の約21%を占めており、近年に至るまで増加傾向にあります。

また、地域の高齢化率は、平成27年（2015年）時点で22.6%と市平均（23.2%）よりも低い状況にありますが、徐々に増加しています。

今後は、将来的な地域の人口減少・高齢化の進行が予測されます。

＜富士岡地域の人口推移＞



【出典】各年国勢調査(総務省統計局)

(※1) 高速道路と高速道路を相互に接続するインターチェンジ。

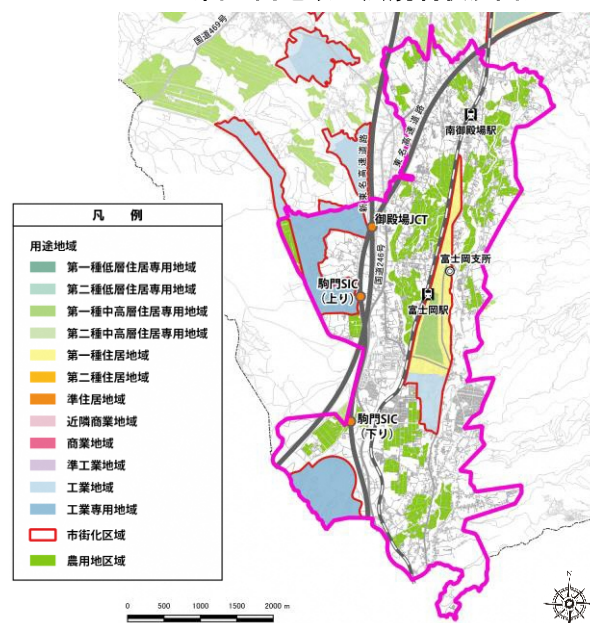
③地域の法規制状況

地域の中央部・西部に市街化区域、その周辺に市街化調整区域が指定されています。

地域中央部の市街化区域内には、2種類の住居系用途地域と工業地域が指定されており、地域西部の市街化区域には、工業専用地域が指定されています。

また、市街化調整区域の一部に、農用地区域を指定しています。

＜富士岡地域の法規制状況図＞



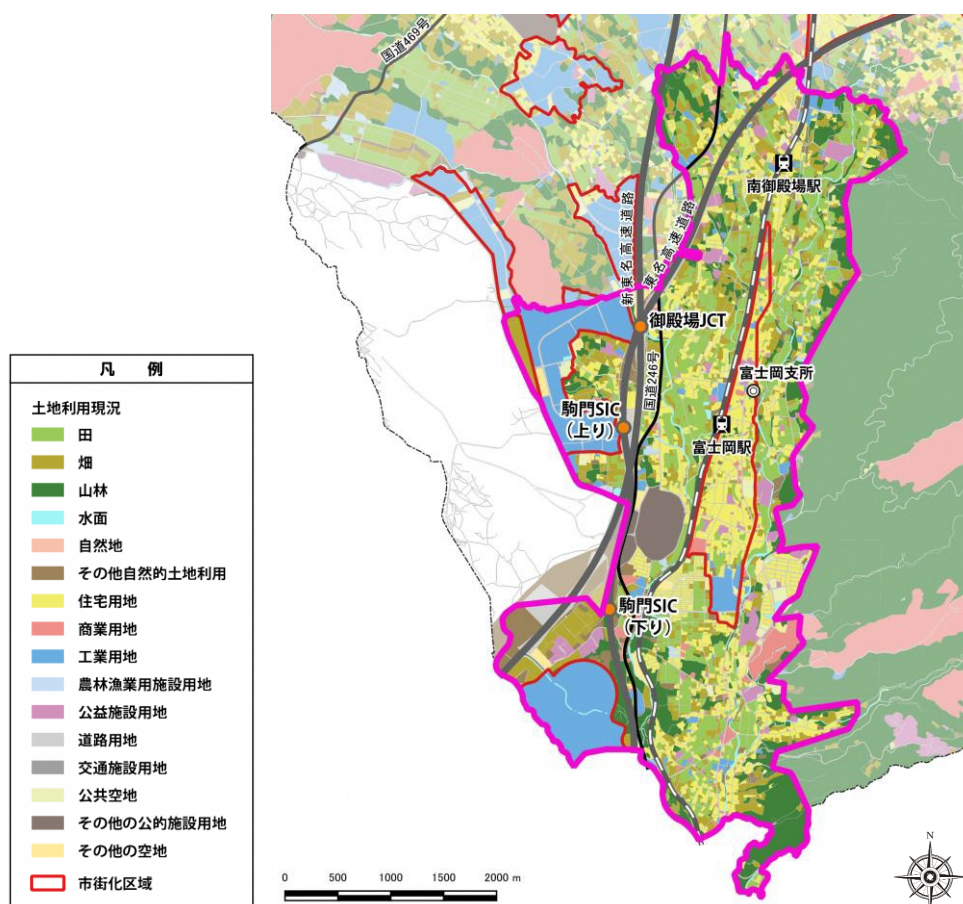
【出典】平成28年度都市計画基礎調査、御殿場市資料

④地域の土地利用状況

市街化区域内のうち、JR 富士岡駅や富士岡支所が位置する地域中央部では住宅用地が多くみられ、地域西部では駒門工業団地を中心に工業用地がみられます。

一方、市街化調整区域には、農地（田・畑）や山林が広がっており、JR 南御殿場駅周辺をはじめとする一部エリアでは住宅用地もみられます。

＜富士岡地域の土地利用状況図＞



【出典】平成28年度都市計画基礎調査

⑤地域の都市計画事業等の実施状況

土地区画整理事業が2地区（駒門工専・中山大坂）で完了しています。
また、都市計画道路が4路線、都市公園が30箇所指定されています。

＜市街地整備事業の状況＞

事業	事業名称等
土地区画整理事業	・駒門工専土地区画整理事業（工業用途：79.6haの一部） ・中山大坂土地区画整理事業（住宅用途：2.8ha）

＜主要な都市施設等の整備状況＞

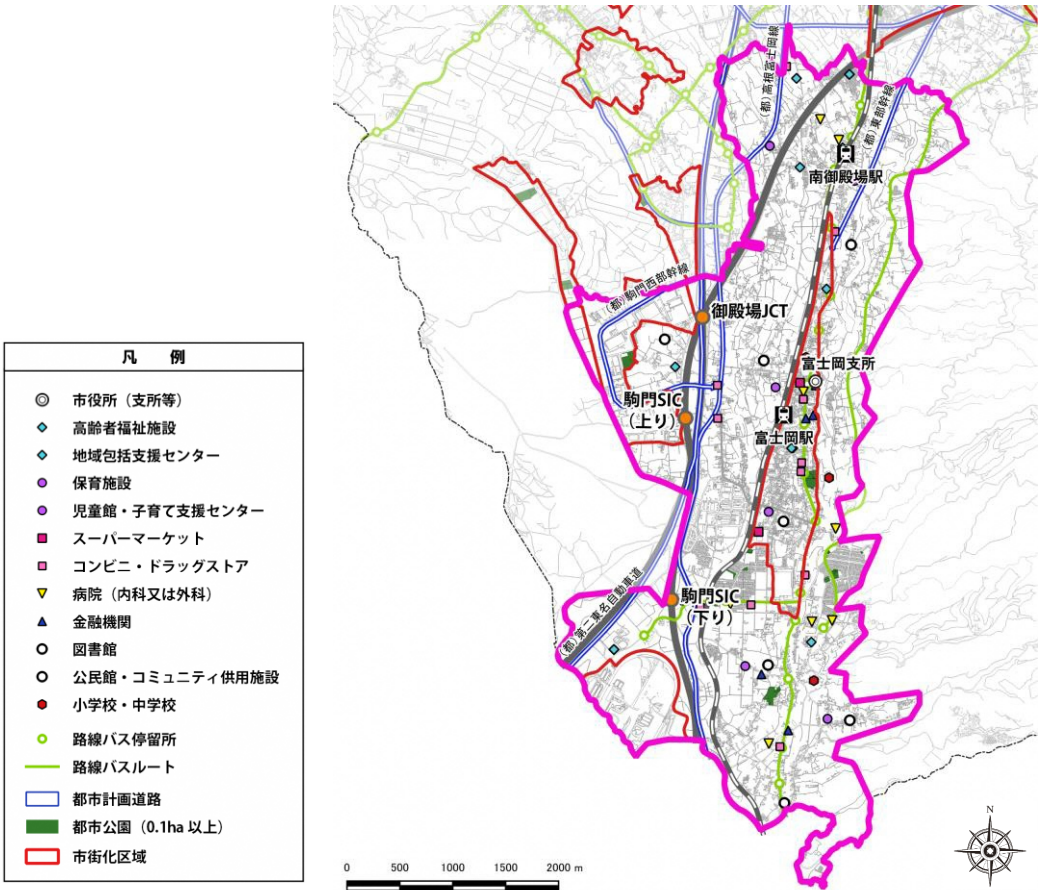
都市施設	施設名称等
都市計画道路	・第二東名自動車道 ・東部幹線 ・駒門西部幹線 ・高根富士岡線
都市公園 (0.1ha以上の公園を記載)	・富士岡公園 ・神山自然公園 ・富士見原うさぎ島公園 ・富士見原つつじ公園 ・富士見原あじさい公園 ・神山平富士見が丘公園 ・駒門公園 ・富士見原中央公園 ・神山平優遊公園 ・神山平ふれあい公園 ・神山平見晴らし公園
下水道	・富士岡処理区
河川 (1級・2級河川を記載)	・黄瀬川 ・久保川 ・西川

【出典】平成27年度・平成28年度都市計画基礎調査（静岡県）、2020 御殿場市の都市計画

⑥地域の都市機能立地状況及び公共交通の運行状況

地域拠点である富士岡支所周辺や JR 富士岡駅周辺において、公共公益施設や商業・サービス施設などが集積しています。
また、地域の中央部・南北方向に JR 御殿場線が位置し、地域東部では鉄道と並走するかたちで、南北方向を中心に路線バスネットワークが形成されています。

＜富士岡地域の都市施設・都市機能の分布図＞



【出典】厚生労働省 HP、静岡県 HP、御殿場市 HP、全国スーパーマーケットマップ、コンビニマップ、日本全国ドラッグストア・調剤薬局マップ、NTT 電話帳、御殿場市資料

⑦地域の空き家等の立地状況

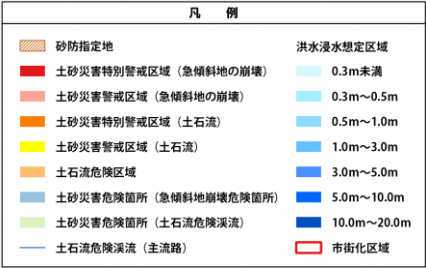
地域内の空き家の件数は 40 件であり、JR 富士岡駅周辺や JR 南御殿場駅周辺で多くみられるほか、市街化区域内では、農地（田・畑）や空き地などの低・未利用地が存在しています。

【出典】御殿場市空家等対策計画(平成 31 年 3 月)

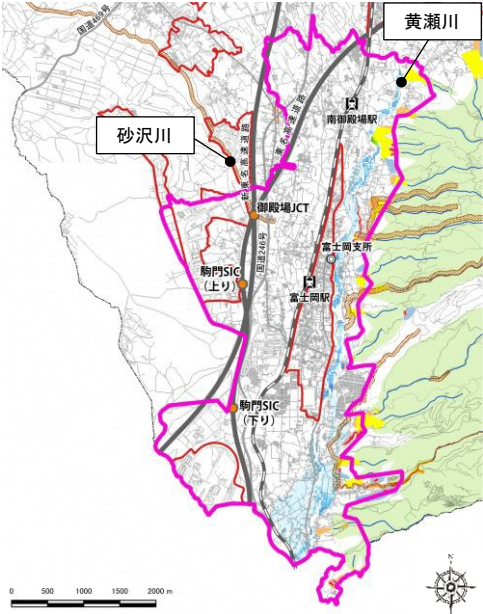
⑧地域の災害関連法の指定状況

地域東部の箱根外輪山の山林において、砂防指定地や土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険区域、土石流危険渓流が指定されているほか、砂沢川沿岸において砂防指定地が指定されています。

また、黄瀬川周辺に洪水浸水想定区域が指定されています。



＜富士岡地域の災害関連法の指定状況＞



【出典】平成 28 年度・平成 29 年度都市計画基礎調査
洪水浸水想定区域図（静岡県）
静岡県 GIS／静岡県統合基盤地理情報システム

⑨地域資源の立地状況

主な地域資源として、駒門風穴や御殿場高原時之栖があり、黄瀬川や周辺の湧水池、箱根外輪山の麓に広がる樹林地などにより豊かな自然景観が形成されています。

＜富士岡地域の主な地域資源＞

駒門風穴	御殿場高原時之栖
富士岡公園	駒門 SIC（下り）

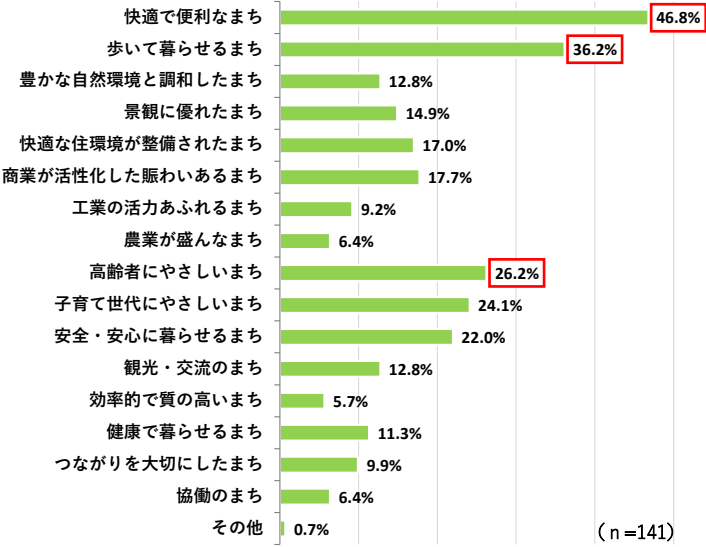
(2) 富士岡地域の想い

①「まちづくりアンケート調査」の結果・主な意見

◆将来のまちのイメージについて

- 将来のまちのイメージとして、「快適で便利なまち」、「歩いて暮らせるまち」、「高齢者にやさしいまち」などが求められています。

＜将来のまちのイメージについて＞



◆地域拠点に必要な施設について

- 富士岡支所周辺では、「医療施設」や「ショッピングセンター」「子育て支援施設」、「高齢者福祉施設」などの立地が求められています。

◆必要な都市環境整備について

- 本地域では、以下の都市環境整備が求められています。

分野	地域が求めるもの		
	1位	2位	3位
道路	安全な歩道の整備 (48.9%)	幅員の狭い生活道路の整備・改善 (36.9%)	既存道路の安全対策 (23.4%) 電線の地中化など安全な道路環境の整備 (23.4%)
公園・緑地	災害時の活動拠点となる公園の整備 (45.4%)	積極的な公園用地の活用・促進 (35.5%)	自然を満喫できる公園の整備 (32.6%)
河川・水路	災害に強い河川・水路の整備 (66.0%)	自然豊かな水辺環境の整備 (44.7%)	水辺に親しめる空間や遊歩道の整備 (36.9%)
防災	備蓄倉庫の整備 (39.7%)	一次避難地や避難活動拠点の整備 (36.2%)	電線の地中化など災害に強い道路整備 (30.5%)
景観	自然・文化・歴史資源を活かした景観形成 (63.8%)	電線地中化など沿道景観の向上 (40.4%)	河川・農地など自然環境に配慮した景観形成 (36.9%)
観光	観光地や観光施設の整備・保全 (41.8%) 観光地の宣伝・PRの強化 (41.8%)		新たな観光商品の開発 (39.7%)

(n=141)

②「地域別意見交換会」での主な意見

本地域の意見交換会では、以下の意見などが出されました。

生 活 (暮らし)	・大学進学などに伴い、若い世代が市外へ出て戻らないため、地域の人材不足が課題 ・今後、高齢化などに伴う空き地・空き家の発生が地域の深刻な課題 ・地域住民が利用できる循環型交通システムが必要 ・屋根の設置や、障がい者への対応など利用しやすい駅の整備が必要
産業・雇用	・地域で働くことができるような産業基盤の整備が必要 ・地元企業への就職支援が必要
観光・交流	・駒門風穴などの観光資源のPRが必要
自然・景観	・自然環境の維持・保全 ・景観の保全と整備が必要
防 災	・地震に対しては、訓練などにより地域の防災力を培ってきたが、今後は噴火災害に対して、具体的な計画・対応策が必要

「地域の現況」や「地域の想い」を踏まえ

(3) 富士岡地域のまちづくりの課題

「地域の現況」や「地域の想い」を踏まえ、地域のまちづくりの課題を以下のとおり整理しました。

生 活 (暮らし)	●富士岡支所やJR富士岡駅、JR南御殿場駅周辺の都市環境の維持・強化 ・富士岡支所周辺やJR富士岡駅周辺の公共公益施設の機能維持・強化 ・JR南御殿場駅周辺の生活環境の維持・保全 ●人口減少・高齢化社会でも安心して暮らすことができる生活環境の形成 ・既成市街地や既存集落地における生活利便性の維持・確保 ・高齢者や障がい者、子育て世代など、誰もが安全・安心に移動できる生活交通の維持・確保 ・既成市街地や既存集落地の空き地・空き家の有効活用 ●都市インフラ（道路・公園・河川など）の適切な整備・維持管理の推進 ・既成市街地や既存集落地周辺の生活道路の安全性向上 ・公園・緑地の適切な維持管理と利活用の促進
産業・雇用	●既存工業団地の操業環境の維持・保全 ・駒門工業団地の操業環境の維持 ・駒門SICの高いアクセス性を活かした産業環境の向上 ・（都）高根富士岡線（国道246号）など産業を支える幹線道路ネットワークの道路環境整備 ●優良農地の保全・農業の活性化 ・市街化調整区域に広がる優良農地の保全、農業の活性化
観光・交流	●観光・交流資源の維持・保全・機能強化 ・観光地エリアなどにおける来街者の滞留性・滞在性の向上 ・御殿場高原時之栖など既存観光資源のネットワーク化
自然・景観	●豊かな山林・農地環境の維持・保全 ・箱根外輪山の山林や優良農地、河川環境の保全 ●富士山や箱根外輪山の景観・眺望の確保 ・JR富士岡駅周辺などにおける富士山や箱根外輪山の眺望の確保
防 災	●地域の防災力向上 ・河川の防災対策の強化 ・富士山噴火や大規模地震、集中豪雨など自然災害への事前対策の強化 ・地域の防災力向上、地域住民の防災意識の向上

（４）富士岡地域のまちづくりの方針

「富士岡地域のまちづくりの目指す姿」

地域拠点である富士岡支所周辺及びＪＲ富士岡駅周辺の居住性の向上や、駒門 SIC の開設による高い交通アクセス性を活かし、地域産業の発展を目指します。

また、観光・レクリエーション施設や箱根山麓の自然環境、優良農地などが相互に連携した滞留性・滞在性のある観光・交流の誘引など、本市の南の拠点として、居住、就業、観光・交流など多彩な市民活動を誘発するまちづくりを目指します。

■生活（暮らし）に関するまちづくり方針

■ 便利なまちなかで暮らし続けることのできる住環境の形成

- 地域拠点である富士岡支所や JR 富士岡駅周辺の公共公益施設については、地域生活を支える機能の維持・充実を図ります。
- 市街地の一般住宅ゾーンでは、空き地・空き家の有効活用を促進し、地域に必要な生活サービス施設の立地誘導を図るなど、良好な住環境の形成を図ります。

■ 箱根外輪山の麓で育む、ゆとりある集落環境の形成

- JR 南御殿場駅周辺などのゆとり・生活ゾーンや市街化調整区域内の農地環境ゾーンでは、狭い道路の解消など生活道路の整備・改善や、日常生活を支える商業・サービス施設の維持・充実、地域コミュニティの強化を図り、自然環境や農業環境と調和したゆとりある集落地としての生活環境の形成を図ります。
- 移住・定住の促進に向けて、空き地・空き家の有効活用や地区計画、優良田園住宅制度などの開発許可制度の適切な運用を図り、秩序ある土地利用を推進します。

■ 豊かな地域の暮らしを支える都市基盤の形成

- 地域内外の円滑な移動を支える都市計画道路などの幹線道路は、適切な整備と維持管理を促進します。また、既成市街地や既存集落地、公共公益施設周辺の生活道路は、地域住民などが安全に通行できる道路環境の形成を図ります。
- 地域の高齢者や障がい者、子育て世代など、誰もが安全・安心に移動できる生活交通の確保に向けて、「地域公共交通計画」を踏まえた既存路線バスの維持・充実を図るほか、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した公共交通の導入を推進します。
- 地域の公園・緑地について、地域のニーズに沿った機能の充実を図ります。また、「公園施設長寿化計画」に基づいた計画的な予防保全に取り組むほか、地域住民との協働による適切な利活用と維持管理を促進します。

■産業・雇用に関するまちづくり方針

■高い交通アクセス性を活かした産業基盤の充実・強化

- 産業拠点及び工業・流通ゾーンに位置する駒門工業団地は、操業環境の維持・保全を図るとともに、駒門 SIC の開設による高いアクセス性を生かした生産性の向上や、企業の市外移転の抑制に向けて、各種支援制度の充実を図ります。
- 産業を支える幹線道路ネットワークとして、（都）高根富士岡線（国道 246 号）や（都）駒門西部幹線、団地間連絡道路などの道路環境の整備を推進します。
- 地域南部の工業・流通ゾーンについて、隣接市の未来都市構想の状況を注視し、今後の土地利用のあり方について検討します。

■優良な農地環境の保全と農業の活性化

- 農地環境ゾーンでは、安定的な農業生産の確保に向けて、一団の優良農地の適切な維持・保全や農地の集約化、農業生産基盤の整備を推進します。特に、JR 富士岡駅西側の中清水地区の田園は、市街地近郊の農業環境の維持と生産性向上を図るため、ほ場整備を推進します。
- 農業地域の活性化に向けて、地域の実情を踏まえ、遊休農地の活用促進や新たな担い手の確保、振興作物の生産拡大に取り組むとともに、農産物の高付加価値化、新技術を活用したスマート農業の推進を目指します。
- 東名高速道路駒門 SIC に近接する環境を活かし、遊休農地を活用した市民農園や体験型・滞在型農園など、市民や来街者が気軽に農業に親しむことができる環境の創出を図ります。

■観光・交流に関するまちづくり方針

■観光資源の磨き上げと周辺の地域資源との連携による観光の活性化

- 観光・交流ゾーンに位置する箱根山麓の山林は、観光・レクリエーション資源として、自然の中で体験できるサイクルスポーツやハイキングなど魅力ある観光・交流の場として有効な活用を促進します。
- 御殿場高原時之栖や時之栖スポーツセンターうさぎ島グラウンド周辺の観光・交流・レクリエーション拠点周辺では、既存の観光・交流資源を適切に維持管理するとともに、周辺の地域資源とのネットワーク化を図り、市民や来街者の滞留性や滞在性の向上を図ります。
- 国指定天然記念物の駒門風穴や地域内に点在している湧水池などは、将来にわたり継承すべき重要な地域資源として維持・保全を図るとともに、地域振興に資する有効な活用を推進します。
- 新東名高速道路の高架下については、地域と協議の上、必要に応じた利活用計画を策定し、交流機能の充実を図ります。

■ 自然・景観に関するまちづくり方針

■ 富士山と箱根外輪山に抱かれる雄大な自然環境の保全

- 箱根外輪山の麓に広がる山林は、水源涵養機能や土砂災害防止機能など様々な機能を有していることから、間伐や樹種転換により、適切な維持・保全を図ります。
- 農地環境ゾーンに位置する優良農地や地域を流れる河川は、生態系の保全や親水機能、景観形成、防災機能などの多面的な役割を有することから、適切な維持・保全を図ります。
- 東名高速道路駒門 SIC 周辺や観光・交流施設においては、電気自動車の充電施設や燃料電池車用水素ステーションの普及を促進し、環境負荷の軽減を図ります。

■ 富士山や箱根外輪山を背景とした魅力ある景観の形成

- JR 富士岡駅周辺や JR 南御殿場駅周辺、国道 246 号沿道では、富士山や箱根外輪山の眺望に配慮した魅力ある景観形成を図ります。
- 工業・流通ゾーンに立地する工業敷地周辺部では、周辺環境との調和や公害防止の観点から、敷地内の緑化を促進します。

■ 防災に関するまちづくり方針

■ 地域の価値を高め、安全な暮らしを育む地域環境の形成

- 既成市街地の住宅密集地においては、災害に強い住環境の形成に向けて、建築物の不燃化・耐震化を促進するとともに、狭あい道路の解消や倒壊のおそれのあるブロック塀等の改善、オープンスペースの確保などによる地域の防災力の向上を図ります。
- 災害時の一次避難所や防災拠点となる施設などについて、地域防災機能の定期的な維持管理を図ります。
- 地域住民への災害発生の危険性や避難に関する情報、防災マップや各種ハザードマップの周知を徹底するとともに、地域主体による定期的な防災活動の実施を推進し、地域住民の防災意識の向上を図ります。
- 大雨氾濫時の地域住民の安全・安心のため、地域内の河川については県などと連携し、護岸改修などによる防災強化を図ります。
- 土砂災害警戒区域など災害リスクを有する地域においては、人命確保の観点から安全性を鑑み、土地利用の抑制に努めます。

「富士岡地域のまちづくり構想図」

